



農作業メモ

## 鳥獣害対策

# 「犯人」を知ることから始めよう

7月は、スイートコーンやすいか、ブルーベリーなどの収穫期となり、鳥獣被害が多くなる時期です。



電気柵「楽らくん」設置例

自分の畑の農作物が、もし何かに食べられてしまったら、被害状況を確認して加害動物を推定することで、今後の対策が立てやすくなります。

### 1 加害動物の特徴と食害の例

現在収穫期となっているスイートコーンを例に、食害の特徴などを説明したものが表です。

一見、獣害のような被害でも、カラスだったり、カラスだと思っていたら獣であったというケースもあります。

### 2 被害防止対策

(1) タヌキ、ハクビシン、アライグマの場合

電気柵をは場の周囲に設置して侵入を防止するのがもっとも有効です(写真)。

電気柵は、触れると瞬間的に強い静電気のようなショックを与えるものです。通行者が誤って触らないよう必ず

注意表示をすることと、電気用品安全法適合品を使用説明書に従い使用するのが原則です。

また、被害を受ける前に設置する、漏電しないよう電気柵の周囲を除草する、中の作物から50cm以上離すなどがポイントです。詳しくは大里農林振興センターにお問い合わせください。

### (2) カラスの場合

透明や黒色などの見えにくいテグスをほ場の周囲と作物の上に張ることが有効です。

テグスは上は2m間隔、ほ場周囲は歩いて入るのを防止するため、間隔を狭く張ります。カラスがほ場周囲のテグスを切ることがあるので、こまめに点検し補修しましょう。

表 鳥獣被害の特徴

動物名	タヌキ	ハクビシン	アライグマ	カラス
大きさ(体長)	50~70cm	100cm	60~100cm	50~60cm
特徴	夜行性で雑食性。穴を掘るのが得意。	夜行性で雑食性。登るのが得意。眉間が白い。	夜行性で雑食性。手先(前足)が器用。尾が縞模様。	ハシブトカラスとハシボンカラスの2種類いる。
スイートコーンの食べ方	株を倒して食べるが土についた部分は食べない。	株を斜めに倒し、皮を上から下にむいて、きれいに食べる。	株を倒して土についた部分まできれいに食べる。	株を完全に倒したり、斜めに倒して、皮を細く裂いて食べる。実をもぎ取って散らかす。
足跡				

(大里農林振興センター農業支援部)